



◆図書館だより◆

2020年1月8日 No330

なんだりかんだり



"NANDARI-KANDARI" means "Anything". In other words we call it "森羅万象".

日本大学第二学園図書館

◎はじめに

あけましておめでとうございます。2020年、令和二年、新しい年の幕開けです。期待と希望に胸をはずませて、この一年のスタートとしましょう。

時間はとても大切です。ただ漫然と日々を過ごすのではなく、「今年こそは」「今年はより一層」という意気込みや情熱を持って、この一年に挑戦してください。

さて、いよいよ第3学期が始まりました。この年度のまとめの時期となります。各自が思い描いている夢や目標の実現に向かって、少しでもやり残しや取りこぼしの無いよう、最後の最後まで力を抜くことなく、精一杯頑張ってください。

質の悪い風邪などが横行していますので、体調のすぐれない時はどうか無理をせず、暖かくして、ゆっくり過ごしてください。今年もよろしく！

凧揚げで走る足あげ息あげて[耕]

🐘 そうさんの独り言 🐘

昨年12月10日夜（日本時間11日未明）、スウェーデンのストックホルムにて、リチウムイオン電池の開発で、旭化成名誉フェローの吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞され、カール16世グスタフ国王より栄誉あるメダルと賞状を授与されました。吉野氏が小学校の高学年の時、担任の先生から「この本を読んでみたら？」と薦められた『ロウソクの科学』（ファラデー著・岩波文庫）を読んでみて、「化学」の面白さを感じたそうです。元々自身の科学的才能や実力があって、今日の偉業達成があると思いますが、長い年月をかけて、地道で丁寧な、決してあきらめないその研究姿勢は、多くの同僚や若い研究者たちに影響を与えていると言われています。吉野氏の机の上には「唯我独尊」と書かれた紙が貼られていて、あえて独りよがりにならないように貼っているそうです。お人柄が忍ばれます。

※ この紙面は学園のホームページからもご覧いただけます。<http://www.nichidai2.ac.jp/>

—図書館とわたしたち—

＝恒例！2019年のベストセラー＝

昨年11月末に日本出版販売（日販）が、2019年の年間ベストセラーを発表しましたので、単行本／文庫本と合わせて第7位までお知らせします。

- < 1位 > 『一切なりゆき 樹木希林のことば』 樹木希林（文藝春秋）
／『小説 天気の子』 新海誠（KADOKAWA）
- < 2位 > 『おしりたんてい かいとうとねらわれたはなよめ』 トロル（ポプラ社）
／『白銀の墟 玄の月（1・2）十二国記』 小野不由美（新潮社）
- < 3位 > 『樹木希林 120の遺言』 樹木希林（宝島社）
／『蜂蜜と遠雷（上・下）』 恩田陸（幻冬舎）
- < 4位 > 『医者が考案した「長生きみそ汁」』 小林弘幸（アスコム）
／『マスカレード・ホテル』 東野圭吾（集英社）
- < 5位 > 『新・人間革命（30・下）』 池田大作（聖教新聞社）
／『白銀の墟 玄の月（3・4）十二国記』 小野不由美（新潮社）
- < 6位 > 『メモの魔力』 前田裕二（幻冬舎）
／『十二人の死にたい子どもたち』 沖方丁（文藝春秋）
- < 7位 > 『妻のトリセツ』 黒川伊保子（講談社）
／『危険なビーナス』 東野圭吾（講談社）

◎さて、2020年はどんな作品が読まれ、好まれるのでしょうか？楽しみですね！

図書館より

○第2学期中から冬休みにかけて、図書の貸出しを受けた人は、速やかに図書の返却をしてください。次にその図書の貸出しを待っている場合がありますので、ご協力願います。

○本日からは通常通りの図書の貸出しとなります。1人合計3冊までを1週間の期限とします。貸出しを受ける際は、生徒証（身分証明書）を必ず持参してください。返却の延滞がある場合は、その図書の返却がされないと、次の貸出しは出来ません。

○図書の貸出し・返却は、閉館時刻の20分前までに済ませてください。図書館システムのデータ更新やシャットダウンに時間がかかりますので、ご協力ください。